

会議名	長浜市指定管理者選定第1委員会 (令和8年度第2回会議)
日時	令和8年9月1日(火) 10:00～11:10
審査対象	高月福祉ステーション

審査結果概要

- (i) 施設所管課(長寿推進課)からの募集経過説明
- (ii) 申請団体(社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会)による説明、プレゼンテーション
- (iii) 質疑応答
- (iv) 採点、集計
200点満点中:163.80点(100点満点中:81.9点)
- (v) 審査
指定管理者として適当と判断する者
所在地 長浜市湖北町速水2745
名称 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会
代表者 平井 和子
選定にあたっての条件 特になし

質疑応答

- 委員:事業計画書にある「介護職員初任者研修の開催」はどのような内容か。
- ⇒介護職員初任者研修はかつてのヘルパー2級の資格である。外部の方も対象とした資格取得のための研修であり、受講後にそのまま法人の施設へ勤務するケースや他施設へ行くケースなどがあるが、人材発掘の取り組みの一つとして実施している。毎年数名の採用に繋がっている。
- 委員:全国的な人手不足の中での採用状況や離職者の対応はどうか。
- ⇒直接応募のほか、紹介会社等を経る場合はコストがかかるため、複数施設(デイサービス、特養、小規模多機能など約10ヶ所)間でのパートや職員の応援体制を整えてカバーしている。離職については、定年退職以外の自己都合等による退職も一定数あるが、採用と育成のバランスを取りながらサービスに穴が空かないように努めている。
- 委員:高齢者福祉センターの達成目標を増やす具体的な取り組みは何か。また、通所介護の利用実績が高い理由と今後の見込みはどうか。
- ⇒高齢者福祉センターではいきいき講座等を通じて活動のすそ野を広げ、特に男性高齢者なども参加しやすい新たな講座を検討していく。
- 高月エリアでは、要支援者の割合が他のセンターに比べて高いため、「大人の学校」のメソッドや機能訓練に対するニーズが非常に高く、今後も高い稼働実績

を維持できると見込んでいる。

委員：人件費の伸びの見込みはどのように考えられているのか。

⇒介護報酬は変更できないものになっているが、処遇改善加算等の一時金も利用し、運営のバランスを見ながら基本給の引き上げも行うことで、職員にも還元できるような取り組みを行っている。

委員：収支計画が5年間とも同じ金額になっており、人件費などは上昇していくと考えられるが、平均した値で計画されているのか。

⇒その通り。

■審査

委員：引き続き、スケールメリットを活かした適切な人材確保・配置および職員の専門性向上に努めてほしい。

委員：災害時等における他施設との連携や、適切な対応を引き続きお願いしたい。

委員長：社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会を「高月福祉ステーション」の指定管理者候補として適当と判断してもよろしいか。

全委員：異議なし。